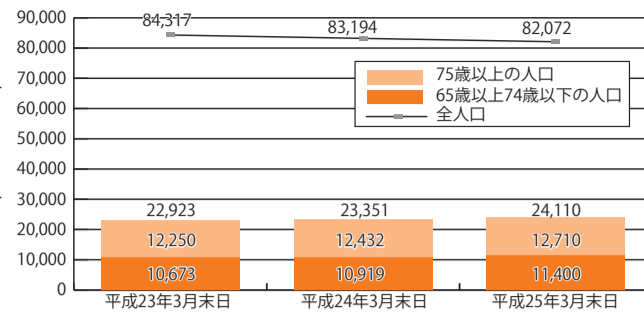


地域で支える介護保険

介護保険は、40歳以上の皆さんが納める介護保険料と国や自治体の負担金を財源に、介護や高齢者の暮らしを地域全体で支える制度です。平成24年度の実績から、市の介護保険実施状況をお知らせします。

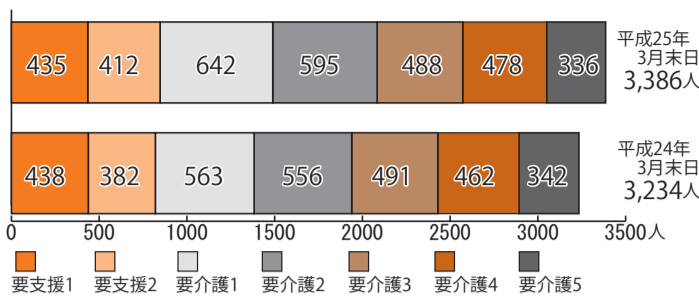
グラフ① 人口の推移



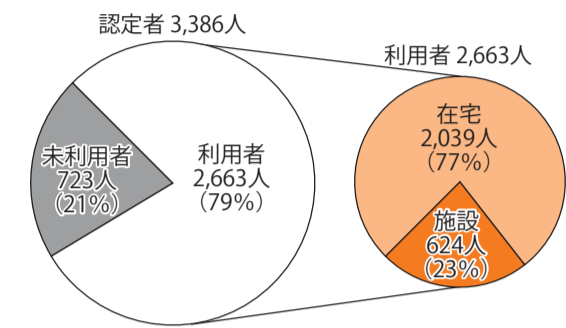
高齢化率は29・4%に

本市の65歳以上の人口は2万4110人で、全人口に対する割合は29・4%です。高齢化率は、ゆるやかに上昇しています。「グラフ①」また、要介護（支援）認定を受けている人は、40歳から64歳までを含め3386人です。「グラフ②」そのうち実際に介護サービスを利用している人は2663人で、大別すると在宅サービス利用者が77%、施設サービス利用者が23%です。認定者の増加に伴い利用者も増えていきます。「グラフ③」

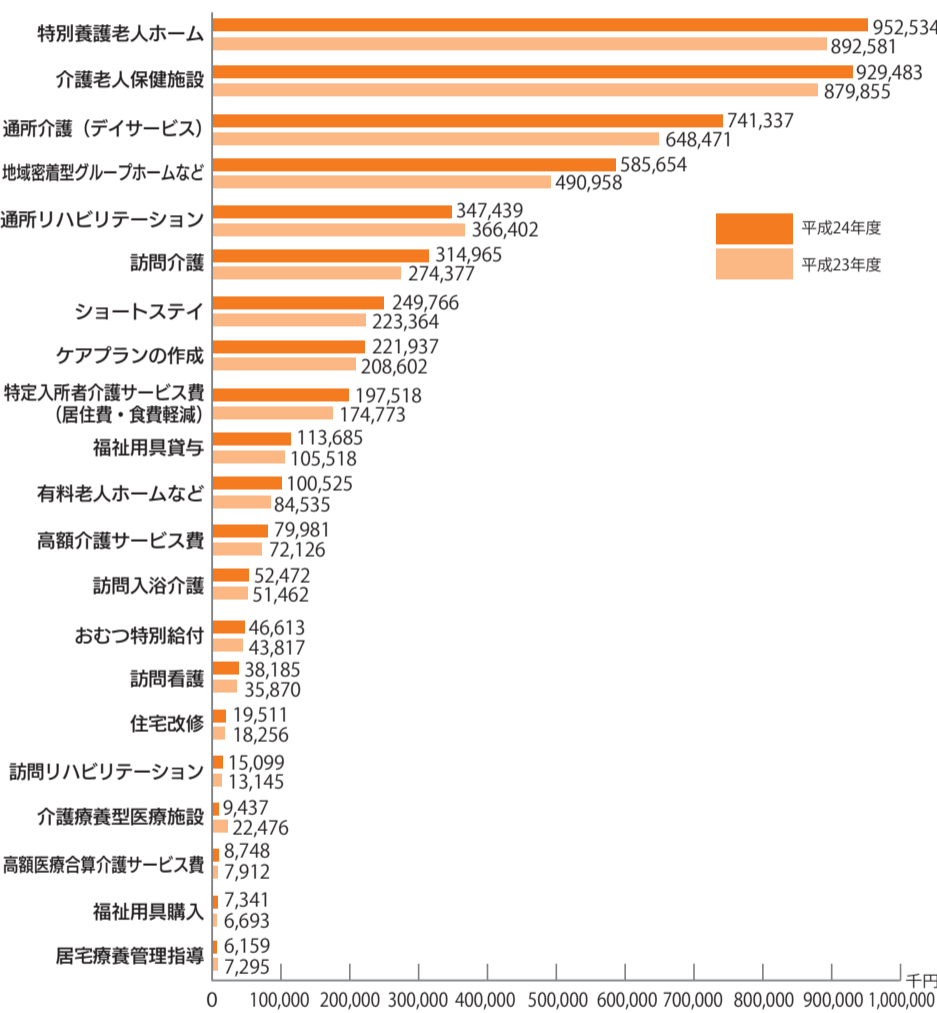
グラフ② 要介護（支援）認定者数



グラフ③ 介護サービス利用者数



グラフ④ 介護サービス種類別給付額



給付費は4億1千万円の増

介護サービス費用の1割は利用者が支払い、あとの9割は介護保険の中から給付されます。平成24年度の給付費は総額5億3934万円で、平成23年度より4億1085万円増えています。1人当たりの平均給付額は在宅サービス利用者で月額約12万円、施設サービス利用者で月額約28万円となります。種類別にみると、訪問看護をはじめ、通所介護、特別養護老人ホーム、グループホーム、有料老人ホームが増加しています。「グラフ④」高齢者福祉課 ☎1208(50)

不妊治療費を助成 治療開始前に申請を

市では、不妊治療をする人を対象に助成を行っていただきます。申請書を提出し、助成決定を受けなければ、助成を受ける権利が発生しません。治療開始前の申請が必要です。

■対象

夫婦とも引き続き1年以上香取市に住居登録しており、戸籍法に基づく婚姻後1年以上が経過し、子が1人もいなく、不妊治療が必要な人。助成対象期間内に、夫婦の内の

■助成額

治療に要した費用の7割、年額30万円を限度

■助成期間

助成決定後の最初の診療日を起算日とし、引き続き2年間

■所得制限

どちらか一方または両方が市外に転出した場合は、助成資格を失います。

- 夫婦の前年の所得の合計額が450万円未満
- 必要書類
 - 少子化対策支援事業申請書
 - 戸籍謄本
 - 住民票
 - 不妊治療が必要であるという医師の意見書
 - 前年の所得状況が分かるもの（所得証明書、確定申告書の控えなど）
 - 健康保険証
 - 印鑑
 - 助成金を振り込む銀行口座番号
- 問い合わせ
 - 子育て支援課 ☎(50)1257

健康・長寿のための転倒骨折予防教室

日常生活における転倒を予防するため、専門家の指導による「健康・長寿のための転倒骨折予防教室」を開催します。

■対象

市内在住で65歳以上の人

■佐原教室

◇日時 10月1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29日(火)、11月5日(火) 10時～11時30分

◇場所 香取市民体育館2階武道場

◇定員 50人

■小見川教室

◇日時 10月1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29日(火)、11月5日(火) 13時30分～15時

◇場所 小見川社会福祉センター（さくら館）和室

◇定員 35人

■山田教室

◇日時 10月16日(水)・23日(水)、11月6日(水)・13日(水)

◇場所 小見川地域包括支援センター

◇定員 35人



20日(水)・27日(水) 13時30分～15時

◇場所 山田公民館2階和室

◇定員 20人

■参加費 無料

■服装・持物 運動しやすい服装、タオル、飲み物

申し込み・問い合わせ 9月9日(月)から電話で申し込み

◇場所 佐原地域包括支援センター

◇定員 20人

■参加費 無料

■服装・持物 運動しやすい服装、タオル、飲み物

申し込み・問い合わせ 9月9日(月)から電話で申し込み

◇場所 佐原教室

◇定員 20人

◇場所 小見川地域包括支援センター

◇定員 35人